

令和2年4月13日

2学年：生徒、保護者各位

那覇市立鏡原中学校
校長 新垣康史
(公印省略)

令和2年度 2学年（新学級編制）のお知らせ

平素より、本校の学校教育にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
みだしのことについて、下記事項により新2年生の学級編成を5学級から6学級にします。
生徒・保護者におかれましては、円滑な学校運営と充実した学校生活となるようご理解をくださいますことをお願い申し上げます。

記

〈6学級編成の理由〉

新2学年については、学級編成の基準日である4月7日（火）現在で通常学級在籍生徒が199名であり、本来ならば1学級40人編成で5学級編成です。しかしながら、通常においても1学級39名～40名が在籍し特別支援学級の生徒を親学級として迎えた場合、1学級42名～43名の生徒が在籍することから、学習環境においても「生徒一人一人に配慮し、個に応じた指導」の実現が厳しい状況です。今後1年間の教育活動を鑑みたとき、学習環境の改善が必要と判断しました。

そこで、4月8日（水）に那覇市教育委員会へ6学級編成について報告し審議の結果、条件付きで6学級編成が認められました。条件とは、〈1学級増となる学級担任は、定数内の教員で対応する〉ことです。つまり、教員の加配はないということです。

6学級編成を実現するためには、先生方一人あたりの授業時数増や校務分掌（仕事分担）の増が伴います。学校においても、そのような状況を理解し、「生徒のために有益である」との思いで先生方が了解してくれました。生徒・保護者の皆様におかれましても、この事をご理解ください。

6学級編成後は、1学級32名～34名となり親学級の在籍は35名程となります。6学級の編成表については、3月下旬の教材販売日にすでに校内掲示をしています。学級担任は、1組（渡慶次尚司先生）、2組（高里三奈子先生）、3組（依田羊一郎先生）、4組（大城美生先生）、5組（平安山陽一先生）、6組（今枝寿明先生）となります。

〈実施によって見込まれる効果・影響〉

- ①「生徒一人一人に配慮し、個に応じた指導」に有益である。
- ②生徒指導上の課題や感染症への対応等、適切な対応に有益である。
- ③本校の特徴として、年度途中の転入生の受け入れに（生徒増）にも対応できる。
(昨年度は全体で、15名の転入生がいた)

〈確認事項〉

※このような対応は、今年度のみ対応であり、次年度以降も継続できるとは限りません。

(職員配置や校務分掌の割当、予備教室の確保等の条件があることを申し添えます。)

※1学級の定数は40名ですので、通常学級の在籍数が201名となった場合は、必然的に6学級となります。基準日は2・3年生は4月7日（始業式の日）、1年生は4月8日（入学式の日）です。

※基準日が4月7日（火）の「始業式の日」であり、6学級編成を発表することが出来なかったことをご理解ください。